

# 2015 (平成27) 年度 第1号 旭丘高校教育通信

## グローバル時代の私学 若者・青年の発達と自立を支援 地域単位制総合高校

### 旭丘高校

### 2016(平成28)年度生 生徒募集

- 募集定員 533名(推薦266名、一般267名)
- 募集学科 普通科(男女)・総合学科(男女)

※総合学科に「大学進学クラス」(特別奨学生制度あり)があります。  
 ※普通科・総合学科とも「不登校生ベーシッククラス」があります。  
 ※普通科に学力回復重視の「クリエイティブクラス」があります。  
 ※進学・進路を保障するキャリア教育とそのカリキュラムづくりを重視しています。

## 2015年度 体験入学セミナー ～セミナーと学校説明・相談会～

### ●サマーセミナー、学校説明・相談会

[第1回] 7月25日(土) [第2回] 8月22日(土)

### ●体験入学セミナー、学校説明・相談会

[第3回] 9月19日(土) [第4回] 10月3日(土)  
 [第5回] 10月24日(土) [第6回] 11月7日(土)  
 [第7回] 11月21日(土) [第8回] 11月28日(土)  
 [第9回] 12月5日(土) [第10回] 12月12日(土)  
 [第11回] 1月9日(土)

★いずれも午前9時開始。会場は旭丘高等学校。  
 ※毎回、ベーシッククラスとクリエイティブの特設相談会があります。  
 ※秋期のセミナーでは、進学に係る講座が予定されております。  
 ※詳しい日程につきましては、0465-24-2227(岡部・堀内)までお問い合わせください。

### 皆さんの多様・多彩な夢を実現

進路・進学を保障するカリキュラムがさらに進化・充実します!

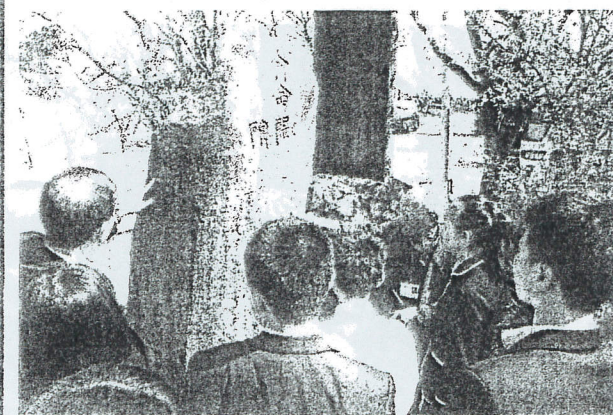
第1回のサマーセミナー(7/25)で2016(平成28)年度から実施される新しい進学カリキュラム—総合学科進学クラス・特別奨学制度に係るカリキュラム、普通科の進学カリキュラムなど—を盛り込んだ教育課程・入試制度の改革について第1次説明があります。

## 旭丘高校の“足元からのグローバル教育”

—中国・西安外国語学校・安陽第37中学(高校)との高校生文化スポーツ交流—

旭丘高校の総合学科では、グローバル教育に対応して「中国語」「韓国語」「イタリア語」「異文化理解」などの選択講座をカリキュラムに位置づけ開講しています。普通科でもグローバル教育に対応する新しい選択講座が来年度新入生に向けて検討されています。

## 治水神つなぐ縁に感動 中国の生徒、旭丘高を訪問



「文命東堤碑」に彫られた碑文に見入る西安外国語学校の生徒ら  
—南足柄市班目の福沢神社

中国・西安市の西安外国語学校の生徒10人が6日、南足柄市班目の福沢神社境内にある文命宮と同東堤碑を見学した。古代中国の治水神「禹王(別名・文命)」を祭ったほころと酒匂川治水を記した碑文を前に、生徒は「中国の文化のつながりと文字の力に感動した」と話していた。

(石川 美那)

日本語を学ぶ同校一行は3日から8日まで、交流校である旭丘高校(小田原市城内、水野浩校長)を訪問している。

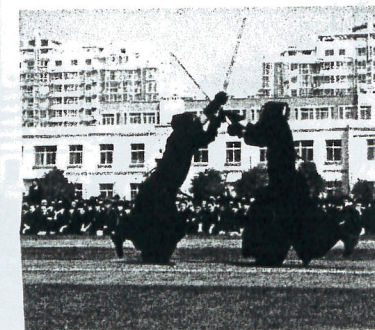
この日は、旭丘高の生徒5人と一緒に酒匂川治水の現場を視察。まず松田町の松田ハーブガーデンから足柄平野を流れる酒匂川上・中流域の様子を遠望し、同川両岸にある文命堤のうち、東岸の大口土手にある文命宮と同東堤碑を訪れた。

特に生徒らは、高さ約2.5メートルの同東堤碑を取り囲み興味津々の様子。足柄の歴史再発見クラブ顧問の大脇良夫さん(74)から、「江戸中期の富士山噴火の影響で氾濫した酒匂川を治水するため、1726(享保11)年に田中丘隅が大規模な築堤工事を行い、『禹王』に

「文命東堤碑」に彫られた碑文に見入る西安外国語学校の生徒ら



旭丘高校相撲場で交流  
(西安外大附属校生徒)



安陽第37中学校(高校)にて  
剣道の演武

ちなんだ文命堤と命名した「ながらを感じる」と話した。由来が漢文で記されている」などと説明を受けた。高校生のベン・リジュンさんは「禹王のことが遠く日本で大切にされていることに感動した。文化のつながりを感じる」と話した。両校の交流は、旭丘高の小出博三前副校長が同校教授だったことから、2014年に始まった。今回は3回目だが中国からは初来日となる。